

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。
- ②子会社株式及び関連会社株式……移動平均法による原価法によっている。
- ③満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券
 - 1)時価のあるもの……期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算出)によっている。
 - 2)時価のないもの……移動平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品……最終仕入原価法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品は定率法、ソフトウェアは定額法を採用している。リース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

什器備品 3年～8年 ソフトウェア 5年

(4) 引当金の計上基準

① 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	900,000,000	-	-	900,000,000
投資有価証券	100,000,000	-	-	100,000,000
小 計	1,000,000,000	-	-	1,000,000,000
特定資産				
選手派遣事業引当預金	-	35,000,000	-	35,000,000
選手強化事業引当預金	-	35,000,000	-	35,000,000
水泳の日事業引当預金	-	20,000,000	-	20,000,000
日本泳法事業引当預金	8,000,000	-	3,942,000	4,058,000
基金財産	47,190,000	19,770,000	-	66,960,000
創立90周年記念事業引当預金	10,000,000	-	10,000,000	-
小 計	65,190,000	109,770,000	13,942,000	161,018,000
合 計	1,065,190,000	109,770,000	13,942,000	1,161,018,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	900,000,000	(55,000,000)	(845,000,000)	-
投資有価証券	100,000,000	-	(100,000,000)	-
小 計	1,000,000,000	(55,000,000)	(945,000,000)	-
特定資産				
選手派遣事業引当預金	35,000,000	-	(35,000,000)	-
選手強化事業引当預金	35,000,000	-	(35,000,000)	-
水泳の日事業引当預金	20,000,000	-	(20,000,000)	-
日本泳法事業引当預金	4,058,000	-	(4,058,000)	-
基金財産	66,960,000	(66,960,000)	-	-
小 計	161,018,000	(66,960,000)	(94,058,000)	-
合 計	1,161,018,000	(121,960,000)	(1,039,058,000)	-

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	23,829,621	22,466,086	1,363,535
リ ー ス 資 産	8,051,256	3,997,659	4,053,597
ソ フ ト ウ ェ ア	32,894,767	21,111,258	11,783,509
合 計	64,775,644	47,575,003	17,200,641

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
外国債券・Tokio Marine & Fire Insurance Co.,Ltd.	100,000,000	98,570,000	△ 1,430,000
債券・ML通貨選択FXターン U・A3610-3	100,000,000	98,100,000	△ 1,900,000
債券・ML通貨選択FXターン U・A3707-9	200,000,000	147,420,000	△ 52,580,000
合 計	400,000,000	344,090,000	△ 55,910,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
第90回日本学生選手権大会 補助金	横浜市	-	6,500,000	6,500,000	-	
平成26年度選手強化N F 事業補助金	(公財)日本オリンピック委員会	-	129,502,747	129,502,747	-	
平成26年度JOC ジュニアオリンピックカップ 夏季・春季水泳競技大会 選手強化交付金	〃	-	200,000	200,000	-	
平成26年度 「2020ターゲットエイジ育成・強化プロジェクト /ジュニア競技者の育成・強化事業費」委託金	〃	-	32,989,000	32,989,000	-	
日本スポーツマスターズ2014水泳競技会 運営補助交付金	(公財)日本体育協会	-	274,200	274,200	-	
第63回日本泳法研究会 補助金	(公財)鹿児島コンベンション協会	-	150,000	150,000	-	
助成金						
第90回日本選手権水泳競技大会 競泳競技 助成金	(一財)上月スポーツ教育財団	-	2,000,000	2,000,000	-	
第90回日本選手権水泳競技大会 シンクロスイミング競技 助成金	〃	-	2,000,000	2,000,000	-	
第90回日本選手権水泳競技大会 水球競技 助成金	〃	-	1,000,000	1,000,000	-	
第90回日本選手権水泳競技大会 飛込競技 助成金	〃	-	1,000,000	1,000,000	-	
ジャパンオープン(50m)2014助成金	〃	-	1,000,000	1,000,000	-	
第90回日本学生選手権水泳競技大会 競泳競技 助成金	〃	-	1,000,000	1,000,000	-	
FINAワールドカップ2014東京大会/ 第56回日本選手権(25m)水泳競技大会 助成金	〃	-	2,000,000	2,000,000	-	
平成26年度選手強化交付金	(公財)日本オリンピック委員会	-	38,018,000	38,018,000	-	
2014年度スポーツに関する科学的・学術的・ 医学的研究に対する助成	(公財)ミズノスポーツ振興財団	-	2,000,000	2,000,000	-	
第37回全国JOCジュニアオリンピック夏季大会 (シンクロ競技)スポーツ振興助成金	(公財)三菱養和会	-	1,000,000	1,000,000	-	
平成26年度 スポーツ振興基金事業 助成金	(独)日本スポーツ振興センター	-	14,935,000	14,935,000	-	
平成26年度 競技強化支援事業 助成金	〃	-	23,743,000	23,743,000	-	
平成26年度 スポーツ振興くじ事業 助成金	〃	-	49,920,000	49,920,000	-	
合 計		-	309,231,947	309,231,947	-	